

あるかぼーと・唐戸エリアマスタープランデザイン会議

第16回 議事概要

日時	2025年1月21日（火） 13:30～17:00
場所	本庁5階会議室
参加者（委員）	HBP・KAM 共同事業体：吉田、木村隼、木村大、清原、井上、矢口 専門家：熊谷、榎本、大橋、長町 地域事業者：郷田、阿部、原田、立川 事務局：北島副市長（事務局長）共創イノベーション課 内田、田中、平山、村上

1. 社会実験について（R6年度、R7年度の報告）

木村大委員より資料に基づき説明

- 海響館出口前のモバイル遊具について …
 - ・子供たちに好評であった
 - ・ただし、夏場の暑さ対策が課題
 - ・将来の遊具設置に当たっては、その設置場所の対応はできそうだが、整備費+管理費の確保等が課題
- カモンワーフ海側のモバイルユニットについて
 - ・遊歩道内へのユニット設置は利用者に好評であった
 - ・将来、モバイルユニットを常設するにあたっては、社会実験の結果を踏まえたうえで、その種類や戸数等を検討する必要がある
 - ・モバイルユニットの利用者から、カモンワーフの店舗への飲食のモバイルオーダー（端末を使った）は、需要が見込まれるので今後検討する
- 海鮮バーベキューについて（ザビエル上陸記念碑海側遊歩道で実施）
 - ・今回の海鮮バーベキューは、利用者にかなり好評であった
 - ・ただし、今回のバーベキューは、材料費がかかり掛かっていたようなので、今後は誘客しながら利益をどう出していくかが課題
 - ・また、この遊歩道は人の往来が多い場所なので、次回バーベキューを実施するのであれば、同記念碑の背後の駐車場を活用することを検討した方がよい
- 親水緑地でのイベントについて
 - ・緑地内にもイベント用の給排水や電源の設備が必要である
 - ・飲食等で収益を得て、それをソフト面に充てる事業手法が望ましい
 - ・それについては、みなと緑地 PPP（港湾環境整備計画制度）の活用を検討したらよい
 - ・渡船場の周辺エリアにフラッグやモニュメントを置いて、海辺のにぎわいや楽しさを演出したらよい
- 海峡クルーズについて（夜景クルーズと歴史クルーズの2つ実施）
 - ・夜景クルーズ … 唐戸市場、海響館、観覧車のライトアップは、遠くから見てもオールスターがそろったようでよかったとの評価あり
 - ・関門橋から星野リゾートホテルまでの流れのあるライトアップが魅力的な夜景を演出できることが分かった
 - ・歴史クルーズ … 参加人数は少なかったが、満足度はかなり高かった → ついては、いかに海峡の歴史をテーマとしたクルーズの魅力をうまくPRし、利用者を増やしていくかが課題である

- 今後のモバイルユニットの社会実験について
 - ・ R7 年秋の星野リゾートホテルの開業に合わせ、あるかぼーと岸壁のエプロン敷でモバイルユニットの社会実験をし、日常のにぎわいづくりを目指したい
- 将来のモバイルユニット全般の課題について
 - ・ 実際にどうしたらモバイルユニットを常設できるのか、誰が設置し管理・運営するのか、港湾緑地の整備との関わり・連携をどうするのかなどの課題について、社会実験の結果を踏まえたうえで、その方針をつめていく必要がある
 - ・ なお、モバイルユニットの管理・運営等を将来のエリアマネジメント会社が担うことになれば、その経費に充てるエリアマネジメント会社の財源についても検討が必要である

2. 関門連携事業（フライ&クルーズ）の進捗状況について

共創イノベーション課より資料に基づき説明

- フライ&クルーズの内容について
 - ・ R7 年 3 月末の 3 日間に、北九州市と連携して 唐戸～門司港～北九州空港 を結ぶクルーズの社会実験を実施する計画である
 - ・ 現在、実施に向けて北九州市サイドと詰めの協議を行っている

3. タテミチの検討進捗状況について

道路河川建設課より資料に基づき説明

- 唐戸 5 号線の計画について
 - ・ ①当該道路は、まちの人たちが立ち寄れる場所を創り出すこと、②まちとウォーターフロントをつなぐ回廊を創ることをコンセプトにしている
 - ・ 今後は、唐戸 5 号線の計画（案）を持って地元調整を行い、更なるブラッシュアップをして R7 年度から事業着手する予定である

以上